

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスちから		
○保護者評価実施期間	2026年3月1日 ～ 2026年3月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2026年3月1日 ～ 2026年3月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子ども理解に基づく個別的で丁寧な支援体制	・日々の様子や課題を職員間で共有し、個々の特性やニーズに応じた支援を実施している。 ・保護者へのフィードバックも丁寧に言い、学習状況や成長の様子をわかりやすく伝えている。 ・保護者評価でも専門性ある支援、計画作成、相談対応に高い評価を得ている。	・支援記録の蓄積と分析を進め、より根拠に基づいた個別支援の充実を図る。 ・職員研修を継続し、専門性向上につなげる。
2	・安心して過ごせる環境整備と柔軟な対応力	・清潔で過ごしやすい空間づくりを継続し、必要時には別室対応や環境調整を行うなど、子どもの状態に応じた柔軟な対応を実施している。 ・保護者からも安心して通所できているとの評価を得ている。	・感覚特性や年齢差に応じた環境設定をさらに進め、静かな空間や活動スペースの使い分けなど、より快適な支援環境を整備する。
3	・保護者との信頼関係と高い満足度	・日頃の連絡、面談、相談対応を通して保護者との共通理解を大切にしている。 ・支援への満足度は高く、共感的な関わりや細やかな対応への感謝の声も寄せられている。	・保護者向け情報発信の内容をさらに充実させ、家庭で活かせる支援の視点や子育て情報の提供を進める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・外部連携・地域交流機会のさらなる充実	・地域との交流機会や協議会参加、保護者同士の交流支援について十分とはいえない項目が見られた。 ・日々の支援運営を優先する中で、外部との接点づくりに時間を確保しにくい面がある。	・地域資源の活用、児童館・関係機関との連携行事、保護者交流会の実施方法を検討し、無理のない範囲で段階的に取り組む。
2	・非常時対応や安全計画の周知強化	・マニュアル整備や訓練は実施している一方で、保護者への周知や見える化が十分に伝わっていない可能性がある。	・避難訓練実施報告、安全計画の説明、災害時対応フローの配布など、保護者へ伝わる形での発信を強化する。
3	・職員研修・業務改善体制の継続的強化	・概ね高評価である一方、第三者評価や研修機会、振り返り体制など一部項目で改善余地が見られた。 ・少人数体制ゆえに時間確保が課題となりやすい。	・年間研修計画の作成、短時間でも実施できるケース検討会など、継続的な質向上の仕組みを整える。